

事務事業実績測定調書

R5調書番号 424

事務事業名称	はたちのつどい事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	教育政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	参加者(式典を実施する年度中に20歳に達する人。以下、同じ。)			
	サブターゲット	参加者を祝福するために集まった参加者の家族、地域、関係者の方々等			
	ターゲットが抱える課題	より多くの参加者に喜ばれる「はたちのつどい」が求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	より多くの参加者に喜ばれる「はたちのつどい」が実施された状態。				
事業概要	<p>20歳を迎えられるにあたっての自覚を促すとともに、地域で新たな門出を祝福することとし、市立中学校体育館(全19会場)で式典を開催する地域分散方式で成人の日に実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国歌・市歌斉唱、市長式辞、市議会議長祝辞、校区委員会代表等からのお祝いのことば。 参加者代表(各会場1～2名)による「はたちの想い」。 会場ごとに様々なオープニング・アトラクションの実施。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	参加者の満足度が向上する。				アウトプット (活動結果)	地域で開催される「はたちのつどい」に参加対象者が参加する。				インプット (活動)	「はたちのつどい」を市立中学校で開催する。			
	指標説明	参加者に対するアンケート結果(満足度) 【算出式:アンケートで「大変よかった」「よかった」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				参加対象者に占める参加者の割合 【算出式:参加者数/参加対象者数×100】				開催会場数					
指標設定		単位		%		単位		%		単位		会場			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	達成度	71%				98%				100%					
	目標 (見込み)	80	80	80	80	70	70	70	70	19	19	19	19		
	実績	94.34	66.67	66.22	57.14	67.50	71.10	67.53	68.60	19	19	19	19		

3. 人員体制

(人)

	R5実績
正職員	1.55
再任用	0.28
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	14,143	12,499	13,648		
	会計年度任用職員	387	261	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	14,530	12,760	13,648		
	物件費計	17,864	16,487	17,029	18,685	91.1%
	歳出計	32,394	29,247	30,677		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	17,864	16,487	17,029	18,685	

5. 総括的分析

総括的分析	例年通り、成人の日に市立19中学校体育館を会場とする地域分散方式で開催した。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、オープニング等の実施を可能にする等、式典の魅力化に努めるとともに、式典終了後の交流の時間を長く確保することにより、参加者の満足度を高められるように努めた。その結果、アンケートで「あまりよくなかった」「よくなかった」と回答した割合は7.8%にとどまり、92.2%が「大変よかった」「よかった」「ふつう」と回答した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、参加対象者及び地域の関係者の意見を踏まえながら、事業を継続する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 435

事務事業名称	学校施設管理事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	教育政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	小・中学校の児童・生徒			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	学校園施設の適切な維持管理・警備。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市立学校園施設の保安が図られている。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・全小・中学校に学校施設管理人を配置(平日 朝7:00～8:30、夜間16:30～21:30、休日 8:30～12:30、12:30～19:00)し、施設の管理・警備業務を実施する。(幼稚園の管理・警備業務は近隣小学校に配置している学校施設管理人が担う。) ・学校園において、平日の深夜、休日の夜間・深夜には、施設の管理・警備業務を民間業者に委託し、機械警備及び警備員による巡回警備を実施する。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	市立学校園施設の安全・安心で良好な学習環境の維持が図られている。				アウトプット (活動結果)	施設の異常や不審者発見時に学校長等に報告する。				インプット (活動)	平日朝7:00～8:30、夜間16:30～21:30、休日 8:30～12:30・12:30～19:00に、学校施設管理人を配置し、施設の管理・警備を行う。			
	指標説明	学校施設の管理が行われている学校数。				学校管理人が適正に配置された日数(年末年始(12/29～1/3)除く)				学校施設管理人を配置している学校数(幼稚園については、近隣の小学校の施設管理人が併せて管理する)。					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	71	70	69	69	359	359	359	359	71	70	69	69		
	実績	71	70	69	69	359	359	359	359	71	70	69	69		
達成度	100%				100%				100%						

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市立学校園施設の安全・安心で良好な学習環境の維持が図られている。				施設の異常や不審者発見時に、警備会社が学校長等に報告する。				平日の深夜、休日の夜間・深夜に、機械警備及び警備員による巡回警備を実施する。			
指標設定②	指標説明	学校施設の管理が行われている学校数。				警備会社からの警備状況についての報告回数。				平日の深夜、休日の夜間・深夜に、機械警備及び警備員による巡回警備を実施している学校数。			
		単位 校				単位 回				単位 校			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	71	70	69	69	852	840	828	828	71	70	69	69
	実績	71	70	69	69	852	840	828	828	71	70	69	69
達成度	100%				100%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.08
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	101.48
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	786	781	632		
	会計年度任用職員	248,390	248,144	272,450		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	249,176	248,925	273,082		
	物件費計	0	0	0	0	
	歳出計	249,176	248,925	273,082		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
	一般財源(物件費に充当されるもの)	0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	全小・中学校に学校施設管理人を配置するとともに、新しい学校推進室の委託による夜間・深夜の警備を実施した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、施設管理人による巡回警備及び民間業者委託による機械警備を行い、学校園施設の管理・警備業務を実施することにより、市立全学校園の安全・安心で良好な学習環境の維持を図っていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 440

事務事業名称	学校校務員事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	教育政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2004(H16)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	学校教育法、学校教育法施行規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	学校に在籍する教職員や児童・生徒			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	教職員や児童・生徒が快適な学校生活を送れるよう学校の環境の整備。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	教職員や児童・生徒が快適な環境で学校生活を送ることができる状態。				
事業概要	市立全小・中学校(小学校45校・中学校19校)に各1名の校務員を配置し、教員や学校事務職員の業務に含まれない業務を中心に、学校における日常の施設の維持管理、清掃、補修、植栽の管理及び除草などの環境整備を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
			学校施設における日常の環境整備が図られる。				学校に校務員を配置する。				
指標設定	指標説明		日常の環境整備を実施できている学校数 (令和4年度に学校統合により1校減)				学校における校務員数(合計) (令和4年度に学校統合により1校減)				
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績		64	64	63	63	64	66	65	65
	達成度		100%				102%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	13.84
再任用	3.56
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	38.89
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	121,656	125,243	127,202		
	会計年度任用職員	109,402	107,303	115,730		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	231,058	232,546	242,932		
	物件費計	514	1,862	1,306	780	167.4%
	歳出計	231,572	234,408	244,238		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	514	1,862	1,306	780	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>教職員の業務に含まない学校施設の日常における維持管理業務等を中心に、学校事業全般を円滑に運営できるように様々な役割を担い、学校環境の向上に努めた。</p> <p>近隣の学校園（幼稚園含む。）で構成するブロック単位での環境整備の取り組みを進め、運営の効率化を図るとともに、ブロック内で知識・技能の継承等を行うため人員の適正配置を行った。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、児童・生徒や教職員が安全で良好な環境で学校生活を送れるよう、効果的な人的配置を行い、校務員による環境整備を進める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 473

事務事業名称	社会教育委員会議運営事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	教育政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	1950(S25)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	社会教育法、枚方市社会教育委員設置条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	計画の立案等々に際して、各分野の専門的な知見が得られない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	社会教育に関する重要事項について調査・審議が行われ、その答申を受けて、施策が効果的に推進されている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員は、学校教育及び社会教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、並びに学識経験を有する者の中から教育委員会が委嘱する(13人以内)。任期は2年間。(担当事務) 社会教育に関する諸計画を立案すること。 定時または臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。 前2号の職務を行うために必要な研究・調査を行うこと。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
達成度														

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.20
再任用	0.34
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	11.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,571	1,406	3,292		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	190	105	152		
	人件費計	1,761	1,511	3,444		
	物件費計	39	0	0	27	0.0%
歳出計	1,800	1,511	3,444			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	39	0	0	27		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>社会教育委員会議を2回開催した。 (開催実績・案件名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第37期 第3回社会教育委員会議(令和5年7月7日) 1. 令和4年度社会教育事業について <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度教育政策課の取り組み実績について (2) 令和4年度枚方市立図書館の運営状況について 2. 市駅前図書館について <ul style="list-style-type: none"> ・第38期 第1回社会教育委員会議(令和5年10月20日) 1. 議長・副議長の選出について 2. 令和5年度教育政策課の社会教育事業について 3. 枚方市立図書館の事業について <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度枚方市立図書館の運営状況に係る評価指標の設定とその評価について (2) 令和4年度第4次枚方市子ども読書活動推進計画の進捗状況について (3) 令和5年度枚方市立図書館の運営について (4) 枚方市立市駅前図書館設置に向けた進捗状況について <p>(委員の委嘱)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第38期社会教育委員(任期:令和5年8月1日～令和7年7月31日) 13人委嘱
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	本市社会教育行政の進展状況を踏まえ、必要に応じて社会教育委員会議を開催し、社会教育委員それぞれの専門的な立場から、ご意見をいただくことで、さらに社会教育の充実を図る。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 474

事務事業名称	社会教育活動推進事業													
測定年度	2023(R5)年度				部	総合教育部				課	教育政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5				
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち												
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち												
	実行計画名	17-3.生涯学習活動の支援												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2007(H19)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	社会教育法、決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	教育委員会が主催または共催する社会教育に関する事業に参加または参加を希望する市民等			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	急激に変化を続ける社会の中で、日常生活や家庭生活において身につけておくべき知識や技術が増加している			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	多くの参加者が講座等を通じて、日常生活や家庭生活において身につけておくべき知識や技術を習得し、主体的に学びを深めていくことができている状態				
事業概要	<p>社会教育基礎講座や家庭教育支援事業、社会教育(人権)講座などを通して、人が地域で生活するのに必要な基礎的な知識や技術を提供することにより、学習する主体を育てるとともに事業参加者の「気づき」を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育基礎講座…人が地域で生活していくために必要な基礎的な知識や技術の習得の機会を提供する。 ・家庭教育支援事業…自分の子育てを振り返る機会を提供し、「気づき」を促す。また、親と子が協力し一つのことを成し遂げたり、何かを作ったりすることで、コミュニケーションを図り、父親の家庭教育への参加を促す講座を開催する。 ・社会教育(人権)講座等…お互いの違いを理解し、尊重することの大切さについて考える機会の提供などを行う講座を開催する。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		学習する主体を育てるとともに事業参加者の「気づき」が促される。				実施内容に興味を抱く市民が講座に参加する。				各種講座を主催・共催にて実施する。			
指標設定	指標説明	参加者に対するアンケート結果(満足度) 【算出式:アンケートで「大変よかった」「よかった」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				講座参加者延べ人数				開催講座数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	80	80	80	80	4,130	2,670	4,130	4,130	614	614	614	614
実績	92.36	91.99	93.23	92.04	1,940	2,379	3,375	3,686	357	471	611	616	
達成度	115%				89%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.87
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.04
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,050	8,203	6,869		
	会計年度任用職員	887	959	959		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,937	9,162	7,828		
物件費計	3,769	5,554	5,635	6,229	90.5%	
歳出計	10,706	14,716	13,463			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	2,223	3,679	3,679	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	2,223	3,679	3,679	
一般財源（物件費に充当されるもの）	3,769	3,331	1,956	2,550		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>・令和5年度は、『時代を見すえ、備える』を共通のテーマに設定し、以下の事業を実施した。</p> <p>①社会教育基礎講座として、「人生100年時代のライフプランと資産運用1」、「人生100年時代のライフプランと資産運用2」、「子育て世代のためのマネープラン～将来のために備えよう～」を実施した。</p> <p>②家庭教育支援事業として、「子育て応援！親学び講座」、「親子で楽しもう！LED工作教室 ～あかりについて楽しく学ぼう～」、「春休み 親子で楽しむ木工リサイクル～木片を使って、世界にひとつのオブジェ作り～」、「思春期のいまだきネットトラブル事情～うちの子、大丈夫？後払い決済から闇バイトまで～」、「教育講演会 これからを生きる子どもたちにできること～時代を見すえ、備える～」、「家族みんなで子どもとの時間を楽しもう」を実施した。</p> <p>③社会教育(人権)啓発事業として、「人形劇でこころをつなごう」、「枚方市日本語・多文化共生教室『よみかき』」を実施した。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	講座実施後のアンケート調査で市民のニーズを把握したり、世間で話題になっているような内容を企画することで、より多くの市民が参加したくなるような事業の実施に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 686

事務事業名称	教育委員会広報事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	教育政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2008(H20)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	ホームページを閲覧している市民、枚方市の教育行政に関心のある人等			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	枚方市の教育施策等に関する情報不足			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市の推進する教育施策等に関する情報について、市民等が手軽に入手できている状態。				
事業概要	・教育委員会事務局ホームページの管理・運用				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		枚方市の教育施策等に関する情報について、市民等が手軽に入手できている状態となる。				枚方市の教育施策等に関する情報について「枚方の教育」としてホームページに掲載する。				情報発信すべき教育施策等について検討し、「枚方の教育」ページとして編集する。			
指標設定	指標説明	「枚方の教育」に関するホームページサイトへの閲覧回数				「枚方の教育」ページの当該年度のページの更新回数				「枚方の教育」ページの編集会議の回数			
		単位		回		単位		回		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	144%				100%				100%			
ロジックモデル②		枚方市の教育施策等に関する情報について、市民等が手軽に入手できている状態となる。				FMひらかた「枚方教育ステーション」が放送される。				FMひらかた「枚方教育ステーション」を製作する。			
指標設定②	指標説明	「枚方の教育」に関するホームページサイトへの閲覧回数				「教育ステーション」の年間放送回数				「教育ステーション」の原稿作成回数			
		単位		回		単位		回		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	144%				-				-			
指標数値	目標 (見込み)	200	200	1,000	1,000	-	-	1	1	-	-	1	1
指標数値	実績	244	208	1,169	1,440	-	-	1	1	-	-	1	1

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		枚方市の教育施策等に関する情報について、市民等が手軽に入手できている状態となる。				関係機関に対し、「枚方の教育」冊子を配布する。				「枚方の教育」冊子の編集作業を行ったうえで、発行する。			
指標設定③	指標説明	「枚方の教育」に関するホームページサイトへの閲覧回数				配布した冊子の数				作成した冊子の数			
		単位 回				単位 冊				単位 冊			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				-				-			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	200	200	1,000	1,000	250	0	-	-	250	0	-	-
	実績	244	208	1,169	1,440	107	0	-	-	110	0	-	-
達成度	144%				-				-				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.26
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	236	3,359	2,053		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	236	3,359	2,053		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計	236	3,359	2,053			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源(物件費に充当されるもの)	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	「枚方の教育」については、令和3年度より、冊子を発行せずホームページ閲覧のみとした。サイト閲覧数は年々増加している。 ※ロジックモデル②について、令和3年度にFMひらかたが閉局となったため数値なしとしている。 ※ロジックモデル③について、「枚方の教育」の冊子発行をやめたため数値なしとしている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	教育委員会の取り組みについて、市民によりわかりやすく情報を伝えることができるよう、引き続き効果的な情報発信手法や媒体等の検討を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 776

事務事業名称	教育に関する事務の点検及び評価事務										
測定年度	2023(R5)年度		部	総合教育部			課	教育政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2008(H20)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	小・中学校の児童・生徒			
	サブターゲット	市民			
	ターゲットが抱える課題	学識経験者の意見を元に、より市民に分かりやすい報告書となるよう様式の変更などを行い、学識経験者による指摘や意見に基づく改善を行う必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	学識経験者の知見を活用し、より効果的な事業・施策の推進と市民への責任を果たすことが出来ている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会の会議等の開催や活動状況等の確認を行うとともに、市長公約事業を中心に設定した教育委員会主要施策について点検及び評価を行う。 点検及び評価の内容について、学識経験者の知見を活用する。(点検評価委員会を3回程度開催) 点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、議会へ提出するとともに、市民に公表を行う。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			効果的な教育行政が推進される。				教育委員会主要施策を対象に、学識経験者の知見を活用した点検及び評価を行う。			
指標設定	指標説明		点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、市民に公表する手法の数				点検評価委員会議の開催回数			
				単位	回		単位	回		
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		2	2	2	2	3	3	3	3
実績		2	2	2	2	2	3	3	3	
達成度		100%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.27
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	3.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,736	3,906	2,132		
	会計年度任用職員	0	110	145		
	特別職非常勤	86	86	86		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,822	4,102	2,363		
物件費計	22	31	35	22	159.1%	
歳出計	5,844	4,133	2,398			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	22	31	35	22		

5. 総括的分析

総括的分析	WEB会議にて3回の点検評価員会議を行い、学識経験者の知見を活用して、市民に向けてわかりやすい報告書を作成することができた。教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、「適正」との評価となった。なお、作成した報告書は、議会へ報告するとともに、ホームページにより市民に公表した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	外部の学識経験者の知見を活用し、教育に関する事務の点検及び評価を効果的に実施することで、教育行政の推進につなげていく。 また、市民への説明責任を果たすため、点検及び評価の結果や、教育委員会が推進している各事業について広く情報発信に努める。さらに、報告書は点検評価員からの意見等をもとに内容の充実を進めるとともに、点検評価の方法(会議の進行含む)についてもより効果が高まるよう検討を行っていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 777

事務事業名称	教育委員会会議運営事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	教育政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	1952(S27)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	教育委員会事務局職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	関係各課との調整、会議の円滑な進行。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	スムーズな資料作成を行い、会議を滞りなく進行している状態				
事業概要	<p>教育委員会は、地方自治の精神に基づき、5人の合議制により幅広い視野から審議し意思決定を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会定例会・臨時会、教育委員会協議会が円滑に運営されるよう準備を行う。 ・教育政策会議の準備、運営を行う。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.85
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	4.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,321	4,297	6,711		
	会計年度任用職員	0	110	145		
	特別職非常勤	8,160	8,160	8,160		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	12,481	12,567	15,016		
	物件費計	0	143	200	60	333.3%
歳出計	12,481	12,710	15,216			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	143	200	60		

5. 総括的分析

総括的分析	教育委員会定例会・臨時会、教育委員会協議会、教育政策会議の準備・運営をスムーズに行うことができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	市政運営の透明性を確保するため、引き続き、教育委員会の会議及び教育委員の活動について、ホームページ等で市民に公開する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 778

事務事業名称	教育委員秘書事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	教育政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	教育委員(教育長を含む)			
	サブターゲット	ホームページを閲覧している市民			
	ターゲットが抱える課題	教育委員会各課との教育委員(教育長を含む)のスケジュール管理の一元化。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	教育委員(教育長を含む)の円滑なスケジュール管理・調整、教育委員の活動等のホームページへの掲載が出来ている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員(教育長を含む)のスケジュール管理・調整 教育委員(教育長を含む)の職務遂行に係る資料等の調製、交際費の支出、公用車による送迎等 教育委員の活動等の広報 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.53
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,143	3,906	4,184		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,143	3,906	4,184		
物件費計	440	878	998	969	103.0%	
歳出計	3,583	4,784	5,182			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	440	878	998	969		

5. 総括的分析

総括的分析	教育委員(教育長を含む)のスケジュール管理・調整等、職務の遂行に係る資料等の調整、交際費の支出、公用車による送迎等、円滑に事務を執行した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、教育委員(教育長を含む)の職務の遂行が円滑に行われるよう事務執行するとともに、教育委員の活動について市民への広報を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 781

事務事業名称	教育委員会指定管理者選定委員会運営事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	教育政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2018(H30)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方自治法第244条の2第3項、枚方市公の施設における指定管理者の指定の手續等に関する条例及び同施行条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	教育委員会指定管理者選定委員会			
	サブターゲット	教育委員会事務局内職員			
	ターゲットが抱える課題	選定委員会の円滑な運営。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	指定管理者導入施設のより効率的・効果的な管理運営に向けた、指定候補者の適正な選定。				
事業概要	指定管理者制度を導入あるいは更新するにあたり、指定候補者を選定するため、指定管理者選定委員会を開催する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)			アウトプット (活動結果)			インプット (活動)			
指標設定	指標説明										
	指標種類										
	指標数値	目標 (見込み)									
		実績									
達成度											

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	781	0		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	143	0		
	人件費計	0	924	0		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計	0	924	0			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度は、指定管理者制度を導入または更新する教育委員会所管の施設がなかったため、指定管理者選定委員会運営事務は実施しなかった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	「枚方市指定管理者制度に関する基本指針」に基づき、公の施設への指定管理者制度の導入・更新に際し、適正な事業者の選定に資する指定管理者選定委員会運営事務を、今後も継続実施する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 795

事務事業名称	教育予算・実行計画調整事務										
測定年度	2023 (R5) 年度			部	総合教育部			課	教育政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2008 (H20) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	教育委員会事務局内職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	教育課題の解決にあたり、施策の効果的な推進や見直し等について調整を図るため、各予算の調整、執行管理を行う必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	教育に関する新たな事業や取り組みを進め、教育課題の解決が可能になる状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会事務局各課が予算要求及び実行計画の作成をする際には、教育委員会事務局内の取りまとめを行い、より効果的・効率的な予算・事務執行の観点から事前審査・調整等を行う。 財務会計システムにより、予算の執行管理を行うとともに、決算資料の取りまとめ、調整等を行う。 事業計画の進捗状況について管理するとともに、教育課題解決のため、施策の効果的な推進や見直し等が必要な場合は、関係部署と調整を図る。 平成28年6月に策定した「枚方市教育振興基本計画」に基づく施策の進捗管理を行う。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)			アウトプット (活動結果)			インプット (活動)			
指標設定	指標説明										
	指標種類										
	指標数値	目標 (見込み)									
		実績									
	達成度										

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.27
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.70
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	17,050	10,390	17,922		
	会計年度任用職員	0	385	2,170		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	17,050	10,775	20,092		
物件費計	0	0	0	0		
歳出計	17,050	10,775	20,092			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	適切な執行管理・調整等を行い、効果的・効率的な予算の要求及び決算取りまとめを行った。また、「枚方市教育振興基本計画」に基づき、施策の進捗管理を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	市政の基本方針等との整合性を図りながら、教育行政に関する事業計画の執行管理・調整と効果的・効率的な事業執行のための予算編成を行う。今後も、「枚方市教育振興基本計画」に基づき、施策を進めていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 819

事務事業名称	給与関係事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	教育政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方公務員法等				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市教育委員会職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	職員の給与等に関する事務を適正に執行する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各職員に適正に給与等が支給される状態。				
事業概要	特別職、正職員、会計年度任用職員等、教育委員会職員の報酬・給与の支払事務、所得税・住民税の控除及び納付事務、年末調整、社会保険・雇用保険等の事務手続き、給与証明の発行等。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
指標設定	指標説明				
	指標種類				
	指標数値	目標 (見込み)			
		実績			
	達成度				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.59
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.30
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	20,159	17,811	12,553		
	会計年度任用職員	1,947	3,718	3,538		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	22,106	21,529	16,091		
	物件費計	71	93	115	111	103.6%
	歳出計	22,177	21,622	16,206		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	71	93	115	111	

5. 総括的分析

総括的分析	特別職、任期付職員、会計年度任用職員等を含む教育委員会職員（教職員を除く）の報酬・給与等の支払事務、所得税・住民税の控除及び納付事務、年末調整、社会保険・雇用保険等の事務手続き、給与証明の発行等の事務を適正かつ迅速に遂行した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き厳正で効率的な事務執行に務める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 820

事務事業名称	人事関係事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	教育政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方公務員法等				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	教育委員会職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	職員の人事に関する事務を適正に執行する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	職員が、その能力を存分に発揮することができ、組織体制が充実している状態。				
事業概要	教育委員会職員(教職員を除く)の人事管理事務と各種休暇の管理、公務災害時の手続き、研修実施等に関する事務。夏・冬作業服、靴等をそれぞれの貸与基準に基づいて貸与。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.86
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.74
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	12,308	16,796	22,580		
	会計年度任用職員	191	1,564	2,850		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	12,499	18,360	25,430		
	物件費計	0	0	0	1	0.0%
	歳出計	12,499	18,360	25,430		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	1	

5. 総括的分析

総括的分析	教育委員会職員(教職員を除く)の人事管理、各種休暇の管理、公務災害時の手続き、研修実施等に関する事務、夏・冬作業服、靴等の貸与について、基準に基づき適正に執行した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	職員一人ひとりの資質向上に努めることにより、教育行政に対する市民の信頼を確保する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 898

事務事業名称	教育政策課運営事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	教育政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われている状態				
事業概要	課の運営事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)			アウトプット (活動結果)			インプット (活動)			
指標設定	指標説明										
	指標種類										
	指標数値	目標 (見込み)									
		実績									
	達成度										

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.59
再任用	0.38
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.32
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	19,643	23,436	22,362		
	会計年度任用職員	2,627	3,410	101		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	22,270	26,846	22,463		
物件費計	22,874	23,465	20,785	22,597	92.0%	
歳出計	45,144	50,311	43,248			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	418	500	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	418	500	
一般財源（物件費に充当されるもの）	22,874	23,465	20,367	22,097		

5. 総括的分析

総括的分析	学校園連絡物小包配送業務、教育政策課車両運行・管理業務、その他運営に係る庶務業務を円滑に執行した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	他部局との連絡、調整を図りながら、正確かつ迅速に事務処理を行い、円滑な事務執行を行う。